

『生活創造空間にしの10年、にし研修の10年を振り返る』

「西区に合ったつながりを創っていくために」について振り返る

～生活困窮者支援からみた地域のつながり～

生活創造空間にしが開所して10年目を迎えます。この生活創造空間にし研修も10年目。

今年度の生活創造空間にし研修は、今まで行ってきた研修・学んできた内容について、変わったこと、変わらないこと、それぞれについて、振り返る研修会とさせていただきます。

今までたくさんの方々に参加してくださっていますが、

皆さんと一緒に、この10年を振り返りましょう。

今年度、第1回目は、昨年度行った「西区に合ったつながりを創っていくために」について振り返ります。高齢福祉、児童福祉、障がい福祉、社会的孤立、貧困・格差の問題などが多様化・複雑化・深刻化しているのは横浜市西区でも同様で、少しずつできつつある西区の顔の見える関係が、分野を超えてどのようなつながりを創れるのかをそれぞれの現状と課題を話しながら考えました。今回は、生活困窮者支援という切り口から地域とのつながりについて考えます。

日 時：平成30年 8月24日（金）18：00～20：00

会 場：生活創造空間にし 5階食堂

講 師：ごとう ひろし
後藤 広史さん

日本大学 准教授
文理学部社会福祉学科
1980年生まれ
専門は社会福祉、貧困問題。

《著書》

「ホームレス状態からの『脱却』に向けた支援」
「ソーシャルワーカーのジリツ」
「生活困窮者の現状とソーシャルワーカーの役割」